

< 平成28年度第3回寺泊地域委員会 >

資料No. 1

大河津分水路の改修事業について

国土交通省 北陸地方整備局
信濃川河川事務所

信濃川流域の概要

○信濃川は、その源を長野、山梨、埼玉県境の甲武信ヶ岳(標高2,475m)に発した後、主要な支川として長野市で犀川を、新潟県長岡市で魚野川を合わせて越後平野を貫流し、途中、大河津分水路を分派し日本海に注ぐ、幹川流路延長367km、流域面積11,900km²の一級河川。

○信濃川流域は、本州日本海側初の政令指定都市である新潟市や新潟県第2位の人口を有する特例市である長岡市、長野県の県庁所在地である長野市等を抱え、これらの地域を含めた沿川における社会・経済・文化の基盤を形成。

<流域のデータ>

幹川流路延長:367km(全国1位)

流域面積:11,900km²

主な市町村:

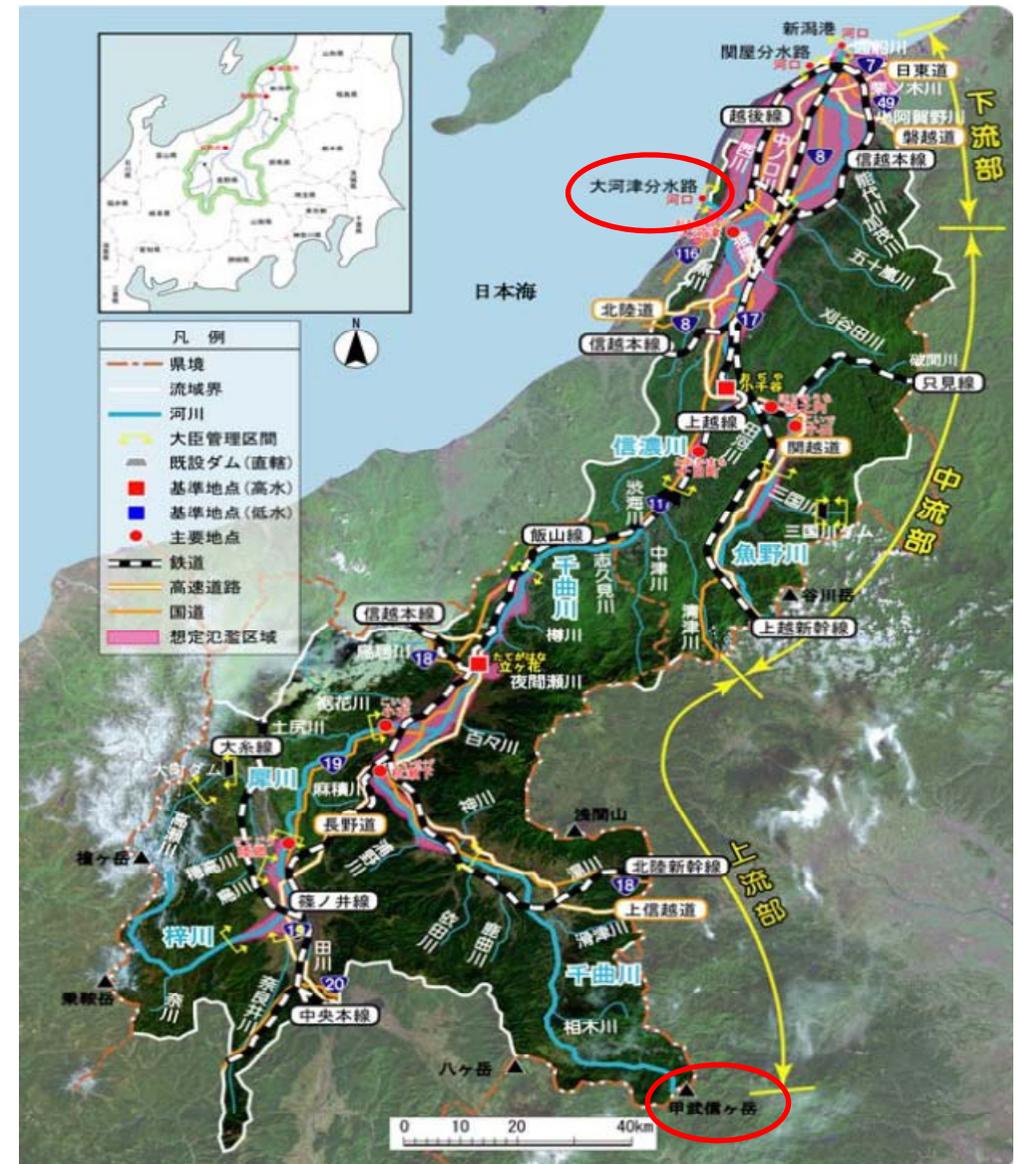
新潟県:新潟市、長岡市、燕市等、12市4町2村

長野県:長野市、松本市等、13市12町6村

群馬県:中之条町 1町

流域内人口:約295万人

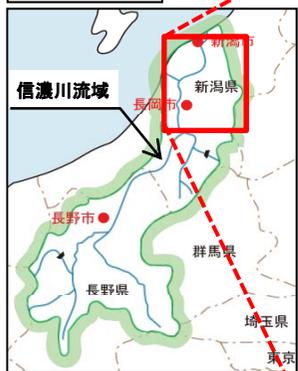
流域内一般資産額:約60兆円



大河津分水路の改修事業について(概要)

- 大河津分水路は、河口部において洪水を安全に流下させる断面が不足。
 - 戦後最大規模(S56年8月)の洪水が流下した場合、分水路上流の長岡市付近まで計画高水位を超過。
 - 水位上昇の影響で氾濫が想定される区域には、新潟市、長岡市、燕市などが位置。
 - 大河津分水路の改修(分水路の拡幅)により、戦後最大規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止。
- ※大河津分水路は、信濃川上中流部の洪水を日本海にバイパスして新潟市街地等を洪水氾濫の危険性から守る人工河川

位置図



事業概要



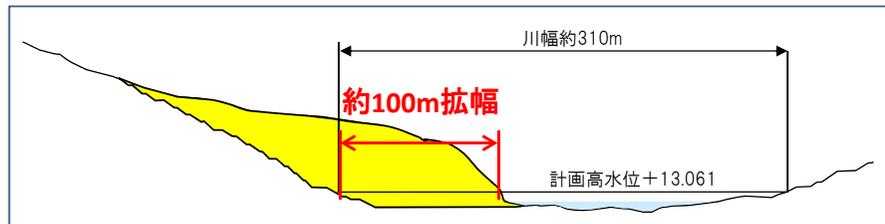
近年の災害



S56年8月洪水 小千谷市元町 H23年7月洪水 魚沼市下島

洪水	信濃川中流部における家屋浸水被害
S56年8月洪水	床上浸水1,446戸 床下浸水1,502戸
H23年7月洪水	床上浸水 229戸 床下浸水 689戸

H23年7月洪水では大河津可動堰の上流で計画高水位を超過



事業内容

- 目的:戦後最大規模(S56年8月)の洪水に対して家屋浸水被害を防止
- 事業箇所:新潟県長岡市、燕市
- 事業内容:放水路の拡幅(山地部掘削、第二床固改築等)
- 全体事業費:約1,200億円
- 事業期間:H27年度~H44年度

大河津分水路の改修事業について(実施状況)

■ 平成27年度

地権者等の確認や土地・物件の調査。用地買収に向けた協議を開始。
新第二床固及び山地部掘削の設計及び施工計画の検討。地質調査の実施。

■ 平成28年度

引き続き、新第二床固及び山地部掘削の設計及び施工計画の検討。地質調査の実施。
野積橋架替工事に関する道路管理者との基本協定に関する協議。(5月10日付 締結)
野積橋架替に向けた詳細設計の実施中であり、道路管理者との施行協定に関する協議を開始。
河口山地部掘削(準備工事)に10月より着手。

事業箇所



新第二床固及び山地部掘削の設計及び施工計画の検討
野積橋架替に向けた詳細設計の実施(道路管理者との協議)

事業工程

	H27 1年目	H28 2年目	H29 3年目	H30 4年目	H31 5年目	H32 6年目	H33 7年目	H34 8年目	H35 9年目	H36 10年目	H37 11年目	H38 12年目	H39 13年目	H40 14年目	H41 15年目	H42 16年目	H43 17年目	H44 18年目
用地取得																		
掘削工																		
新第二床固																		
現第二床固 切下げ工																		
野積橋 架替工																		

※上記工程は、新規事業採択時評価時に想定した工程であり、今後変更となることがあります。

第二床固設計の地質調査の状況



地質調査の実施状況
(設置される予定の河道内に足場を設けて地質調査も実施)

写真H28.1撮影

野積橋架替工事について

- 野積橋架替工事に関して道路管理者である新潟県と協議を行い5月10日付で基本協定を締結。
基本協定とは、工事の設計及び施工について国が実施することなどの基本的事項を北陸地方整備局長と新潟県知事が取り決めたもの。
- 野積橋架替に向けた詳細設計の実施中であり、道路管理者との施行協定に関する協議を開始。
施行協定とは、詳細設計や費用分担に関する内容について北陸地方整備局長と新潟県知事が取り決めるもの。
- 野積橋の架替工事は、下記の全体工程計画のとおり平成29年度から開始し平成34年度に完成する計画。



現在の状況



※完成イメージ図であり、各施設の構造等については今後変更となる場合があります。
 ※右岸側取付道路の線形は、現在、実施設計中です。
 ※歩道は、橋梁海側沿いに設置することを検討しています。

表 野積橋架替工の工程計画

	H27 1年目	H28 2年目	H29 3年目	H30 4年目	H31 5年目	H32 6年目	H33 7年目	H34 8年目	H35 9年目	H36 10年目	H37 11年目	H38 12年目	H39 13年目	H40 14年目	H41 15年目	H42 16年目	H43 17年目	H44 18年目
野積橋架替工																		

※H29年度 工事着手予定。

※新野積橋完成後は現野積橋をしばらくの間、撤去せず工事用道路専用橋とすることも考えています。

■ 今後、実施する大河津分水路河口部の土砂掘削・運搬に伴い、準備工事として10月より高水敷工事用道路工事に着手しました。



大河津分水路の改修に伴う工事用道路(土砂運搬) 平面図

【工事用道路の着色】

凡 例	
	既設運搬路
	新設運搬路(計画)

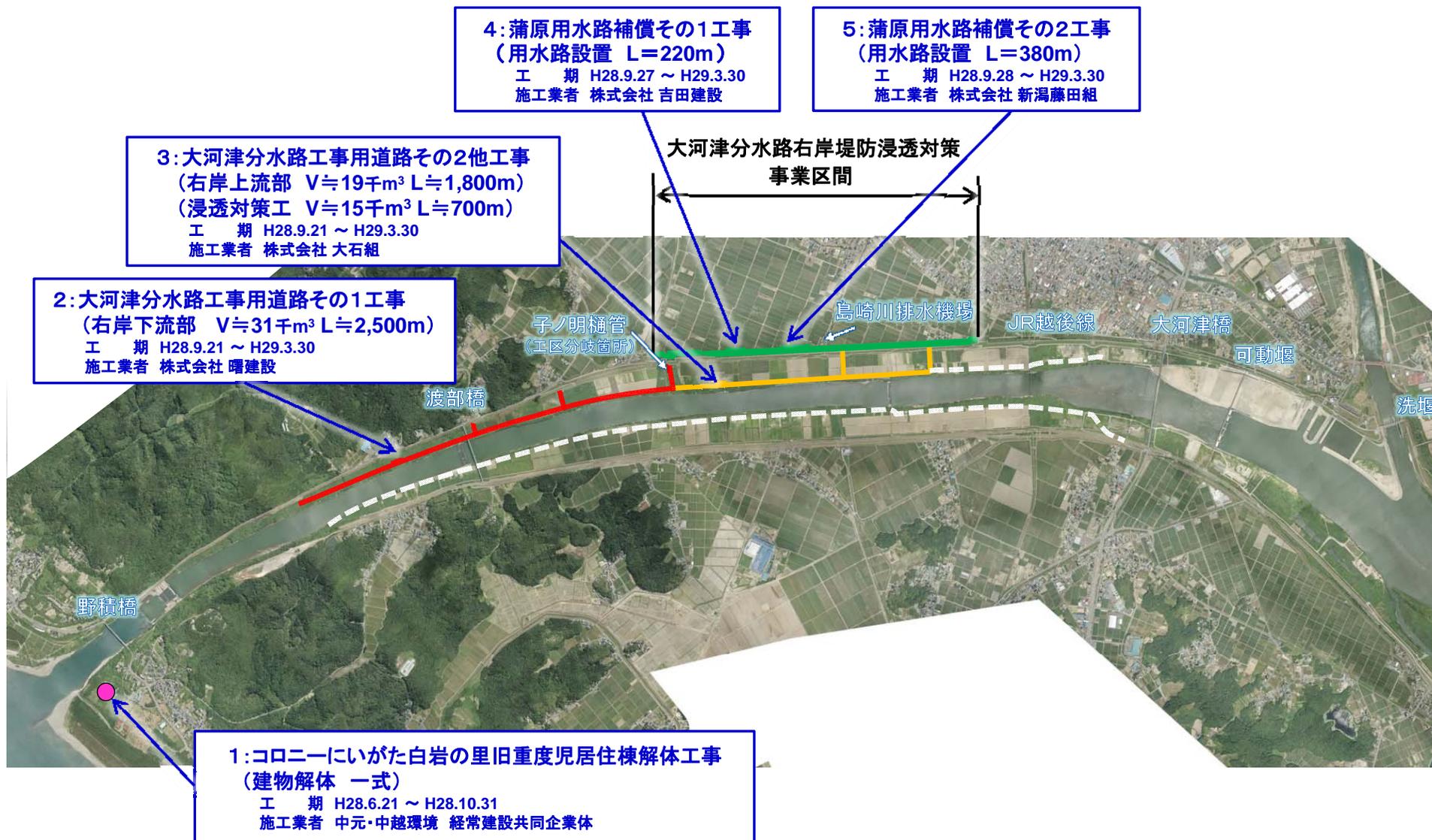


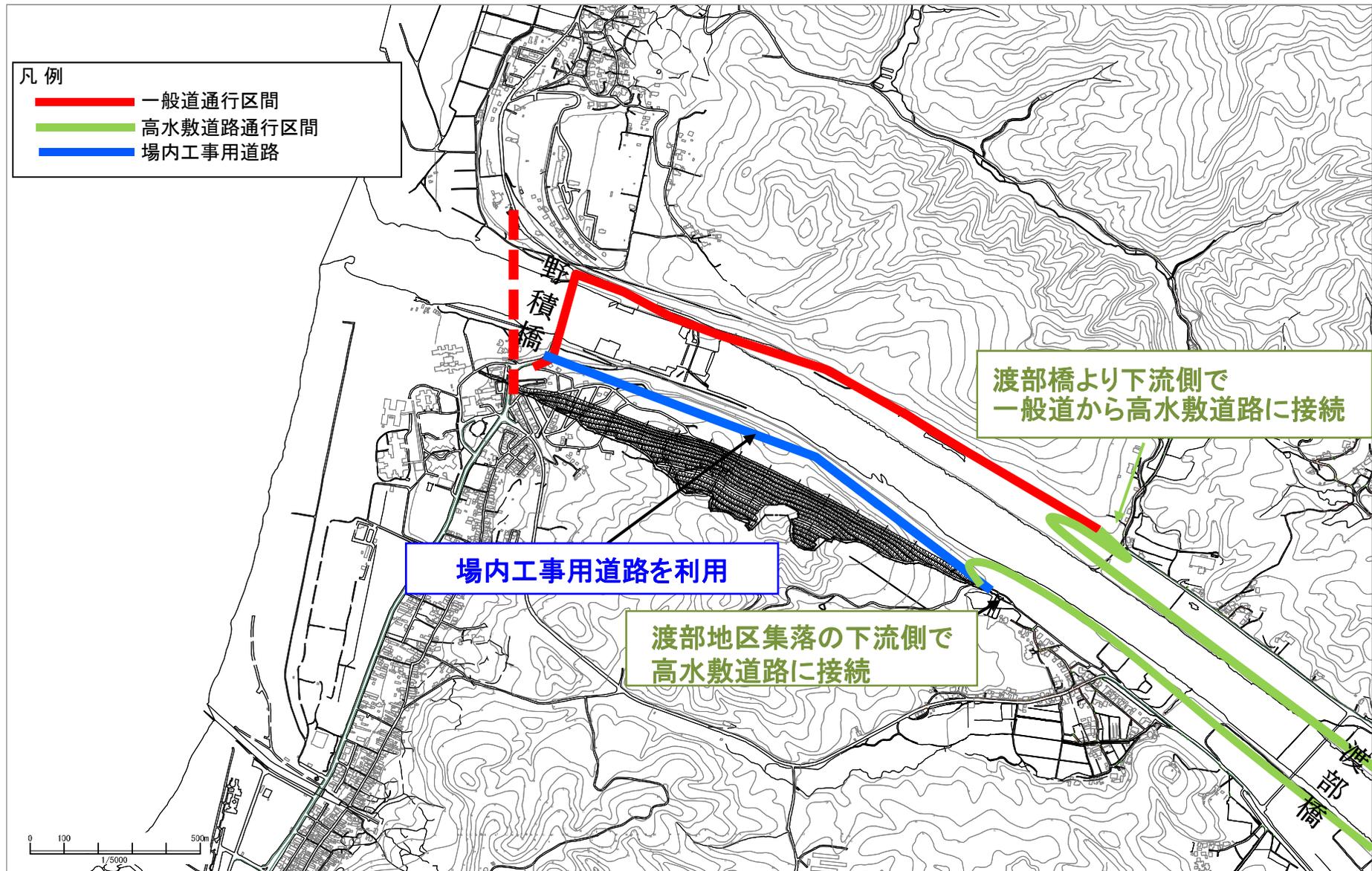
項 目	H27年度		H28年度											H29年度	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
● - 占有者説明会, ◎ - 工事説明会		●				●				◎◎					
現地測量						■									
工事用道路工事									■						
H28 工 事	大河津分水路工事用道路その1工事								■						
	大河津分水路工事用道路その2他工事								■						

※工事用道路は今後、測量結果により変更となる場合があります。

※当該左右岸の高水敷は、占用地となっています。

- ・ H28.3、H28.7と適宜説明会を行い、占有者の方々の意見聴取を実施。
- ・ また、工事契約後、速やかに地元関係者の方々を対象に工事説明会をH28.10.24、10.25、11.9に実施。





※土砂搬出先が正式に決まれば土砂搬出運搬ルートを再検討する。その際に工事説明会等を通じて地元の皆様にご意見を頂くこととします。
※新野積橋完成後は現野積橋を工事用道路専用橋とすることも考えています。

- 大河津分水路の改修事業において、工事施工中の影響や今後の用地関係スケジュールなどに関することを寺泊藪田地域の方々にご説明をする準備が整ったことにより、下記日程にて説明会を開催しました。
- 寺泊藪田地区は、現在居住されている方も多く事業用地境界線も藪田団地内を分断します。今後も地権者の方々にはご懸念に対し、丁寧にご説明しご理解とご協力をお願いしていきます。

配付資料

平成28年度
大河津分水路に関する説明会

寺泊藪田地区

平成28年10月
北陸地方整備局信濃川河川事務所

- 目次
1. 工事施工中の騒音・振動・粉じんの影響について
 - ①山地部掘削工事の施工手順・予測条件
 - ②影響予測結果
 2. 大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み(案)について
 3. 藪田機能補償道路の付け替え計画について
 - ①機能補償道路の付け替え計画検討
 - ②現地測量の作業内容について
 4. 今後の用地関係スケジュールについて
 - ①今後のスケジュール
 - ②用地協議の進め方について

説明会日程 (寺泊藪田地域※)		場所
10月 7日 (金)	町内会の皆様	寺泊文化センター 大研修室
10月 10日 (月・祝)	地権者の皆様	// 多目的ホール
10月 29日 (土)	//	// 大研修室

※寺泊藪田地域とは、大河津分水路左岸の
長岡市寺泊藪田、長岡市寺泊野積字須走



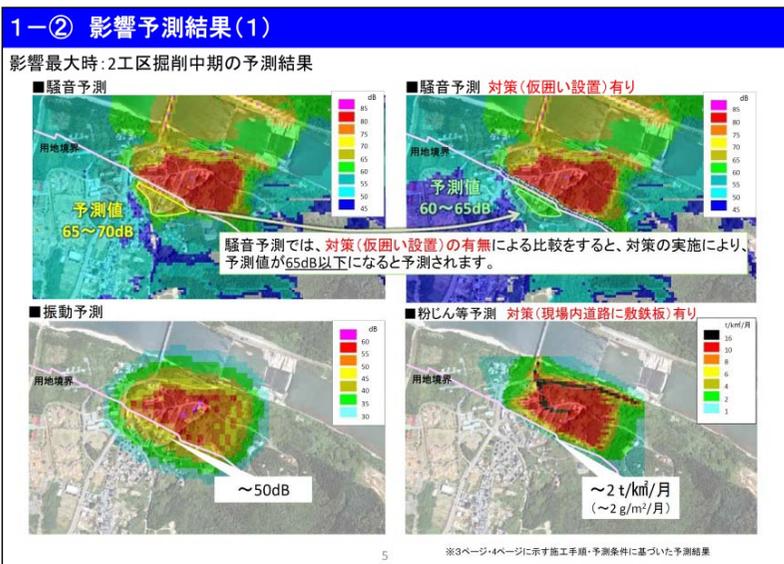
10月7日の説明会の様子



10月10日の説明会の様子



10月29日の説明会の様子



2 大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み(案)について

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

9月16日(金)より信濃川河川事務所ホームページ及び下記閲覧場所にて公表

- お知らせ
 - 記者発表
 - トピックス
 - JR信濃川発電所対応状況
 - 「大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み(案)」の公表及び意見募集について (NEW)

拡大

クリック

http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkoku_kankyo/index.html

工事施工中の騒音・振動・粉じんの影響について
【影響予測結果】説明資料(一部抜粋)

大河津分水路の改修事業 環境保全への取り組み(案)について
【環境レポート】説明資料(一部抜粋)

地元説明会等の開催経緯

平成26年4月20日

大河津分水路改修事業調査着手式

5月12日～16日 地元説明等実施

(大河津分水路調査検討の概要について)

- 平成26年 5月12日 長岡市議会「長岡東西道路・大河津分水整備推進特別委員会」
- 平成26年 5月12日 燕市議会「大河津分水大改造事業促進特別委員会」
- 平成26年 5月14日 寺泊地域委員会
- 平成26年 5月14日 地元説明会（長岡市藪田地区、新川口地区、茅ヶ原地区）
- 平成26年 5月15日 寺泊地域 町内会長・区長会
- 平成26年 5月16日 地元説明会（燕市渡部地区）

6月 2日 大河津分水改修促進期成同盟会

・信濃川改修期成同盟会合同中央要望会

6月17日～18日 地元説明等実施

(大河津分水路の現地調査について)

- 平成26年 6月17日 地元説明会（長岡市藪田地区、新川口地区、茅ヶ原地区）
- 平成26年 6月18日 地元説明会（燕市渡部地区）

10月～11月 地元説明等実施

(大河津分水路の調査検討結果について)

- 平成26年10月 7日 長岡市議会「長岡東西道路・大河津分水整備推進特別委員会」
- 平成26年10月 7日 燕市議会「大河津分水大改造事業促進特別委員会」
- 平成26年10月 7日 地元町内役員説明会
- 平成26年10月10日 寺泊地域委員会
- 平成26年10月10日 地元説明会（長岡市藪田地区、新川口地区、茅ヶ原地区）
- 平成26年10月11日 地元説明会（燕市渡部地区）
- 平成26年11月 9日 地元説明会（地権者全体）

平成27年3月26日～27日 地元説明等実施

(大河津分水路の抜本的改修に向けた状況について)

- 平成27年 3月16日 長岡市議会「長岡東西道路・大河津分水整備推進特別委員会」
- 平成27年 3月18日 燕市議会「燕市議会議員協議会」
- 平成27年 3月26日 地元説明会（長岡市藪田地区、新川口地区、茅ヶ原地区）
- 平成27年 3月27日 地元説明会（燕市渡部地区）

平成27年4月9日 平成27年度予算成立

(大河津分水路の改修の事業化)

平成27年5月26日～6月21日 地元説明会等実施

(大河津分水路の改修の事業概要・用地調査について)

- 平成27年 5月26日 地元説明会（長岡市新川口地区）
- 平成27年 6月 5日 地元説明会（長岡市藪田地区）
- 平成27年 6月 8日 地元説明会（燕市渡部地区）
- 平成27年 6月21日 地元説明会（地権者全体）

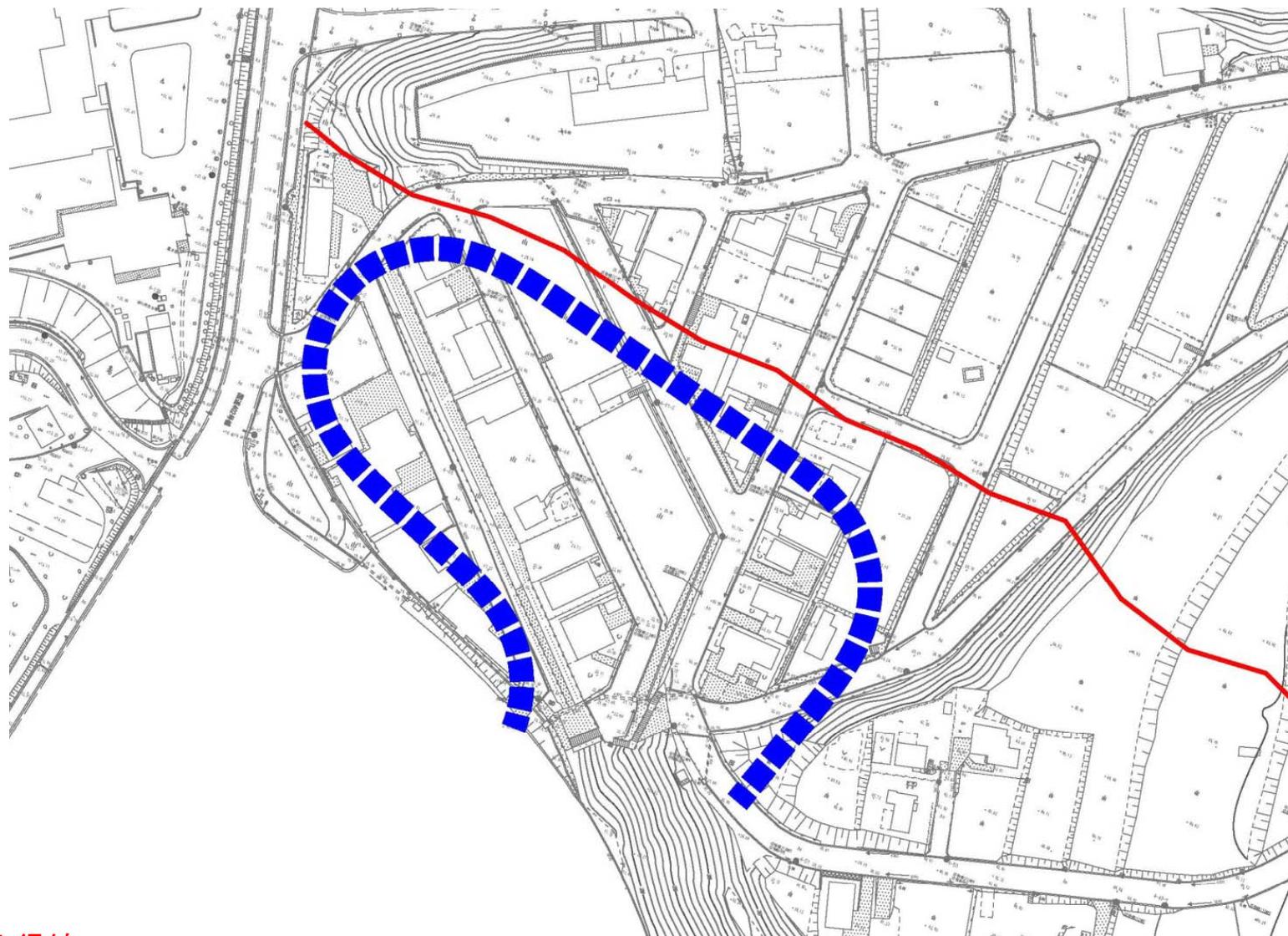
平成28年 大河津分水路に関する説明会等実施

(今後の用地関係スケジュール・各地区固有の懸念事項について)

- 平成28年 3月 個別協議（長岡市新川口地区）
- 平成28年 5月10日 野積橋架替について国・新潟県で基本協定を締結
- 平成28年 7月11日 長岡市議会「大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会」
- 平成28年 7月12日 寺泊地域委員会
- 平成28年 7月20日 燕市議会「大河津分水大改造事業促進特別委員会」
- 平成28年 7月21日 地元説明会（燕市渡部地区）
- 平成28年10月 7日 地元説明会（長岡市藪田地区）
- 平成28年10月10日、29日 地元説明会（地権者全体）
- 平成28年11月21日 長岡市議会「大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会」
- 平成28年11月29日 寺泊地域委員会

※ 説明会で配布した資料より抜粋

現在の検討案



赤線: 用地取得線

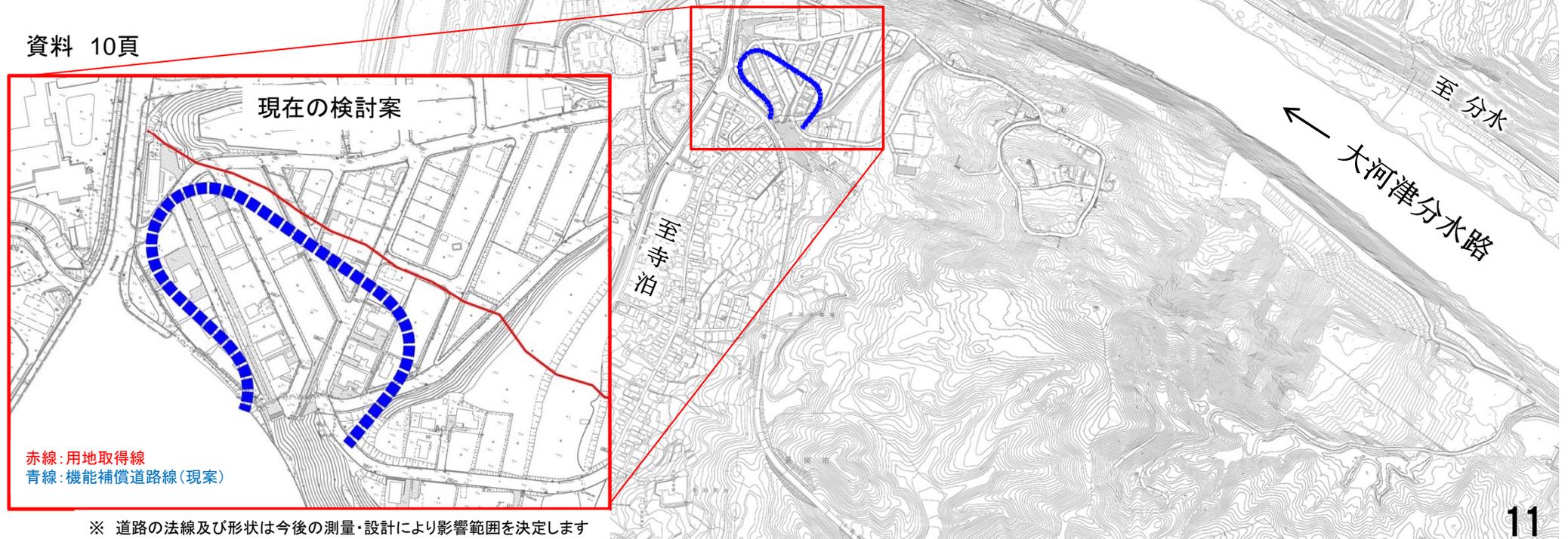
青線: 機能補償道路線(現案)

※ 道路の法線及び形状は今後の測量・設計により影響範囲を決定します

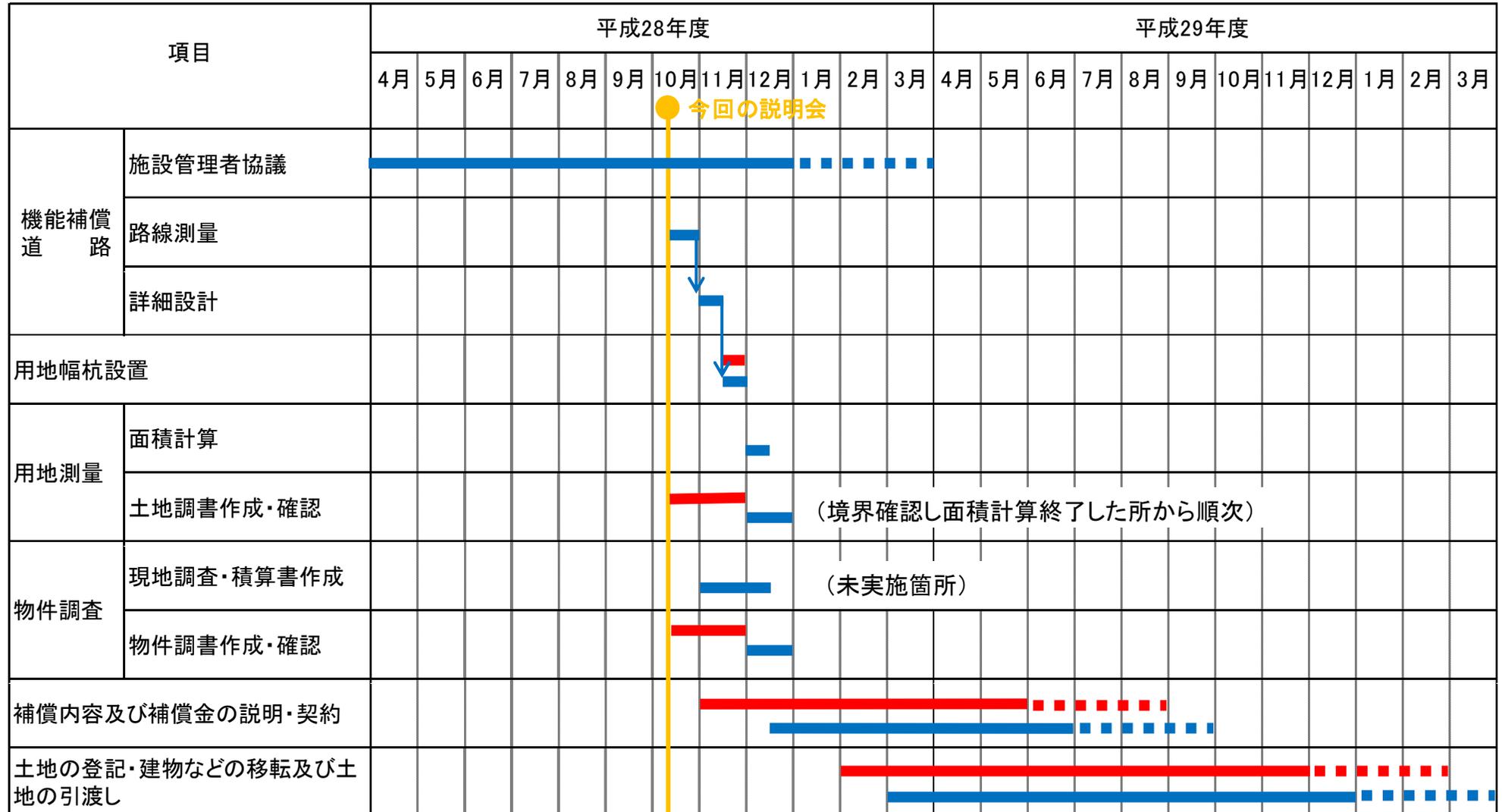
機能補償道路(寺泊藪田地区) 位置図

日本海

資料 10頁



※ 説明会で配布した資料より抜粋



■ 河川事業用地
■ 機能補償道路